

見守り支え地域をつなぐ 民生委員・児童委員にあなたもなりませんか

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員で、ボランティアとして活動しています。

民生委員・児童委員は、それぞれが担当する地域において、介護や子育てなど福祉に関すること、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、見守りや行政などへの「つなぎ役」としての役割を担います。

仕事や子育ての経験を地域のために生かしませんか。



○活動内容

- ・相談を受ける：さまざまな相談を受け、役場や地域包括支援センター、福祉事務所など関係機関へつなぐ
- ・みまもる：気になる高齢者やこどもたちをみまもる
- ・訪問する：気になる高齢者宅などの様子をうかがう
- ・交流する：地域交流サロンなどの地域活動へ参加する
- ・話し合う：民生委員・児童委員協議会定例会（1回／月）に参加する



○活動費

ボランティアとして活動するため給与はありません。

ただし、必要な交通費・通信費・研修参加費などの活動費（定額）は支給されます。

- ・活動費（県）年額 61,700 円（民生委員・児童委員としての活動費）
- ・謝礼金（町）年額 65,000 円

○仕事と両立できる？

仕事をしながら活動している人もいます。自身の都合のつく範囲で、無理のない活動で構いません。

○民生委員になった人たちの感想

- ・感謝されることがうれしい
- ・やりがいを感じる
- ・研修を通じて福祉に詳しくなれた



地域の力になりたいと思っている人は、各区の区長または障がい者・生活支援係まで問い合わせてください。

▷問い合わせ 障がい者・生活支援係（☎223-3530）



※月曜日は休館です。

2・1981へ

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

▽申し込み 12月3日（木）～17日（木）

午前9時～午後5時に、芦屋東

公民館窓口または電話（☎223-1981）へ

お知らせ

芦屋東公民館講座
「フラワーアレンジメント」

正月に向けた、花のアレンジを
学びます。

▽とき 12月22日（木）・午後1時～
3時

▽ところ 芦屋東公民館

▽講師 山村朋代さん（はなの店
ていーだ代表）

▽対象 町内に住んでいるか、通
勤している人

▽定員 20人（事前申し込み先着順）

▽参加費 2000円（材料代）

▽持ってくるもの 花ばさみ、タ
オル、作品持ち帰り用の袋

※月曜日は休館です。

芦屋歴史紀行

その三百四十三

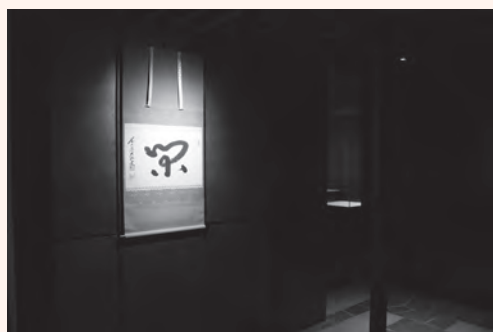
芦屋釜の里 新展示施設 注目ポイント紹介 後編

前回に引き続き、新しい展示施設の注目ポイントを紹介します。後編ではいよいよ、重要文化財「芦屋穀地真形釜」の展示室を紹介します。

④展示室一

芦屋釜の里が所蔵する重要文化財「芦屋穀地真形釜」を常設展示する展示室です。

重要文化財を展示するためには、文化庁が定めるさまざまな基準をクリアする必要があります。そのうちのひとつが、空気環境です。新築の



◁④展示室一



◁⑤露地



◁⑥展示室二

建物からは、さまざまな化学物質が出ています。新築の匂いと言われる匂いには、文化財にとって悪い成分が含まれます。これらの物質の濃度が下がるまでの「枯らし」と呼ばれる期間を経て、重要文化財が展示できる環境の整備を行いました。

展示室一には、重要文化財「芦屋穀地真形釜」を中心に、室町時代の芦屋釜やその他関連資料を展示します。また、茶室に見立てて作られた展示室一の入口には、床の間があります。床の間の掛軸にも注目してください。

⑤露地

展示室一を出て、展示室二へ向かう通路は露地になっています。露地とは、茶室に付随する庭で、茶室へ向かう道のことです。露地には2つの注目ポイントがあります。1つ目は中庭です。露地から見える2つの中庭は、大きな庭石が印象的です。これは芦屋の洞山・堂山をイメージしています。庭石の周りには、板状の石で荒波に侵食された岩が表現されています。2つ目は、芦屋釜の南北朝時代から現代までの歴史年表です。室町時代の芦屋鑄物師の活躍や現代の復興の軌跡などに注目してください。

⑥展示室二

これまでの展示室が名前を変え、展示室二になります。展示室二では、現代の鑄物師による作品を中心に展示を行います。現代の芦屋釜は福岡県知事指定特産工芸品です。その技術力の高さと釜の美しさに注目してください。

2回にわたり、芦屋釜の里資料館の紹介を行いました。いかがでしたか。特別展「芦屋釜600年の旅」室町から現代へ」は、12月27日(金)まで開催しています。(芦屋釜の里)

編集後記

▼「英語教育は早いほうがいいよ」ホームステイ(国際交流事業)の撮影のとき、自分のこともホームステイをさせたという先輩に言われた言葉です。しかし、気づいたら我が家の上の子はもう5歳。ホームステイから帰った芦屋中学校の皆さんの成長ぶりやしっかりした受け答えを見て、すごいなと感心しました。親も子も少しずつでも日々成長していきたいと思いました。(野中)

▼あしや砂像展の海外彫刻家カレン・フラリックさんと話す機会がありました。印象的だったのが砂像彫刻を始めたのは45歳になってからだそうで、それまでは、飲食店や事務仕事をしていたとのことでした。45歳から始めてあんなに精巧な彫刻ができるようになるのはすごいなと思いました。私自身も海外彫刻家と話しているとエネルギーをもらい、年齢を言い訳にしないで何かに挑戦したいと思いました。(篠塚)

▼町民体育祭で皆さんの写真を撮ろうと走り回っていたら太ももが筋肉痛になり、3日間痛みが取れませんでした。日ごろの運動不足を実感したので、まずは帰宅後のウォーキングから始めたいと思います。(手塚)

